

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点
 「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際研究拠点」
 2020年度 国際共同研究成果報告書〔研究費配分型〕

2021年5月10日 提出

1. 研究課題名	
近代木版口絵のデジタル研究環境基盤整備 (英文課題名: Infrastructure Development of Digital Research Environment for Modern Woodblock-printed <i>Kuchi-e</i> (Frontispieces))	
2. 研究代表者	
氏名 (ふりがな)	所属機関・職名
朝日 智雄 (あさひ・ともお) Tomoo Asahi	口絵研究家
3. 研究分担者 (合計: 2名)	
氏名 (ふりがな)	所属機関・職名
赤間 亮 (あかま・りょう) Ryo Akama	立命館大学・文学部
常木 佳奈 (つねき・かな) Kana Tsuneki	立命館大学大学院・文学研究科(院生) / 久留米工業高等専門学校・助教
4. 研究課題の概要 (300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)	
(申請書からの変更なし)	
<p>本研究は、明治期における木版多色摺口絵(近代木版口絵)に関するイメージデータベースを構築し、そのデジタル研究環境基盤整備に取り組むものである。同資源は当時の出版・読書文化を窺い知ることができるものであるにも関わらず、その特性ゆえの扱いづらさから、いずれの研究分野からも敬遠されてきた。以上の背景を踏まえ、本研究は、近代木版口絵に関して最大級規模を誇る朝日コレクションを中心に、他機関所蔵資料をも包括したイメージデータベースを構築し、その学術的価値の再検討を通じて、同資料を人文学研究の俎上に載せることを目的とする。2020年度は、1)朝日コレクションのうち、書籍に挿し込まれた状態の口絵についてデジタル化を完了させること、2)ポータルデータベースの作成に着手すること、3)バーチャルインスティテュートの構築に着手することに注力する。</p>	
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)	
<p>2020年度の研究成果の概要は、以下のとおりである。</p> <p>1)朝日コレクションのデジタル化を実施 研究活動開始当初は、同コレクションの悉皆調査を完了させることを目標としていたが、約200冊の口絵付き書籍が未撮影として翌年度以降に持ち越されることとなった。 なお、約100冊の口絵付き雑誌は、本文ページをも含めたアーカイブを完了させることができた。</p> <p>2)ポータルデータベースの構築に着手 「口絵ポータルデータベース」(https://www.dh-jac.net/db/nishikie/search_kuchie.php)については、構築に加え、マルチ対象対応化を完了させることができた。</p> <p>3)バーチャルインスティテュートの構築に着手 バーチャルインスティテュートについては、コンテンツを検討・準備中のため、公開は2021年度になる予定。</p>	

6. 研究業績 (日本語以外に英語名称もあるものは、できるだけ日英両言語でご記入ください)

(1) 著書

なし

(2) 論文

なし

(3) 研究発表等

- ・常木佳奈「口絵デジタルアーカイブ構築によってみえてきた課題」(第72回 国際ARCセミナー, 京都・立命館大学アトリサーチセンター, 2020/07/08) 査読無

(4) 主催したシンポジウム・研究会等

なし

(5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

なし

(6) 受賞学術賞

なし

(7) 科学研究費助成事業

- ・口絵デジタルアーカイブ拡充と明治期出版文化研究への活用, 研究活動スタート支援, 2020/09 – 2022/03, 常木佳奈(代表)

(8) 競争的資金等(科研費を除く)

なし

(9) その他